



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



卒業おめでとう！！進級おめでとう！！ ～子どもたちの成長に拍手～

令和5年度が終わりました。早いものです。学校創立150周年の節目の年、5月に新型コロナウイルス感染症の分類・対応が変わったとは言え、今年度を振り返ればやはりコロナを含め、感染症に振り回された1年ではなかったかと思います。学級・学年の閉鎖や子ども同士の交流の制限などもあり、なかなか落ち着いた学校生活とはなりません。それでも、最終的にはほとんどの活動をなんとか行うことができ、学習進度も遅れなく終了できたことにホッとしています。

どんな1年でも1年は1年。時間の長さは変わりません。この1年間での学び、思い出を大事にしなが、次のステップに進んでほしいと思っています。

今年度は学校は「主体性の伸長」をすべての活動の共通テーマにおき、子どもたちが、子どもたちの力で為すことを意識して活動を組み立ててきました。あわせて、「+α」と「命」について繰り返し伝えてきました。

1つ目の「+α」は、前向きな姿勢と「もう少し」「少しずつ」の積み重ねを求めるものでした。日々自己ベストの更新を目指し、今の自分を少しずつ大きくしていこうというものでした。子どもたちは本当によく頑張りました。勉強・生活の見直し、友達への接し方をはじめ、自分たちで企画した募金活動など、随所に+αの考え方が生かされているように感じています。

2つ目の「命」については、子どもたちには「死ぬな」というメッセージで送り続けました。日本での地震、世界での戦争など、日々多くの人が命を落としています。子どもの命も例外ではありません。子どもたちは、もちろん私たちも含めて生きることについては、ほとんど無意識で過ごしているところがあります。安全・安心が当たり前のもので受け取っているところがあるように思えます。「命」について「生きること」については、世界にも目を向けながら時々思いをはせて欲しいと思います。

子どもたちは今年度最後の日まで命をつないでくれました。当たり前のことかも知れませんが、3学期を終え、全員無事家庭にかえすことができることにホッとしています。どうぞ、春休み期間中も事件・事故等に十分注意し、「命を守る」行動をとるよう子どもたちへの声掛けをよろしくをお願いします。

ご家庭においては、今年度の子どもたちのがんばりを大いにほめてあげてください。子ども達を温かく見守るエネルギーこそが、子どもたちの次への活力とつながっていきます。

**1年間、大変お世話になりました。
ありがとうございました。**

忙しさの中、忘れていましたが、学校のまわりに目をやると、春の息吹も感じられます。身の回りの春を探してみませんか。

